

平成28年度インターンシップ実習報告書

実習先:新潟県庁 産業労働観光部 産業政策課

学籍番号:14301144

学科学年:化学・生物化学科 3年

氏名:丸山 祥平

■インターンシップへの参加目的

- ・出身地である新潟県の行政、特に観光・産業分野についての理解を深める。
- ・社会人の方々との交流を通して、社会人としての心構え・規範・マナーなどを学ぶ。

■受入企業選定理由

大学1年生の頃から、地方行政に携わる職業である地方公務員になりたいという強い思いがあり、出身が新潟県なので、新潟県庁を選びました。また、数ある行政の仕事の中でも特に、産業・観光分野に興味があったので、産業労働観光部を選定しました。

■得られた成果

まず、行政の仕事について理解を深めることができました。私は将来公務員として、地方行政に携わる人間になりたいという目標はあったものの、肝心の地方行政の仕事についてはあまりイメージできていませんでした。今回の実習を通して、地方行政の中でも主に観光・産業分野における仕事内容に関しては、実習前と比較して格段にイメージすることができました。実習の中で特に驚いたのが、デスクワークばかりでなく、民間企業や観光施設・研究所などの県の機関への視察が多かったことです。庁舎で資料を作成したり、議論を交わしたりするだけでなく、現場で働く方々の声を聞いてそれを行政に反映していくことが大切であると実感することができました。

次に、地元産業の素晴らしさを再認識できたことです。実習中、出身地である燕三条地域に視察に行かせていただく機会が何度かありました。私は出身地が、金属製品や洋食器で栄えているということは知っていたのですが、それがどの程度の範囲で有名なのかということまでは分かっていませんでした。しかし、金属製品を製造し、販売している会社に伺った際、販売担当の方からここでしか販売していない製品を購入するために、全国をはじめ海外からもお客さんが来られるというお話を伺い、地元の伝統産業の偉大さを改めて実感しました。また、三条市にあるアウトドア製品で世界的に有名な企業である「snow peak」の本社も視察させていただくなど、実習を通して地元の燕三条地域に誇りをもつことができました。

そして最後に、実際に地方行政に携わる県職員の方々から、直接お話を伺うことができたことです。仕事のやり方をはじめ、県の産業や観光に関する情報や公務員の心構えなど本当に様々な事を教授していただきました。また最終日には関東甲信越静金融課長会議エクスカージョンというものがあり、新潟県以外の関東甲信越や静岡県の職員の方々と先述した燕三条地域を視察させていただきました。そこでは、他県の職員の方々とお話しさせていただく機会を設けてもらい、他県の行政に関する話を聞かせていただくなど、自分にとってまたとない貴重な機会となりました。

■実習を通じて感じたこと

今回のインターンシップを通じで、地方公務員として地方行政に携わりたいという気持ちがより一層強くなり、特に地元である新潟県で働きたいという思いが強くなりました。また、どの地方自治体で働くことになるかは分かりませんが、働くことになったらその県(または市町村)を誰よりもよく知り、誰よりも愛し、その地方に住む人々から信頼される公務員になろうと決意を新たにしました。

■後輩へのアドバイス

私は学科で学んでいる分野とはあまり関係のないところへインターンシップに行きましたが、本当に多くのことを学ぶことができ、心からインターンシップに行ってよかったと思うことができました。

後輩の皆さんも、今自分が学んでいる分野に限らず、自分が少しでも興味がある分野があれば、どんどんインターンシップに行って実際の現場を見てほしいと思います。

■最後に

今回、たくさんの人に支えられて、無事に2週間の実習を終えることができました。今回の実習で私の担当をしていただいた産業政策課の神山様をはじめ、産業労働観光部長様、産業政策課長様、産業労働観光部の皆様に心より御礼申し上げます。

具体的な実習内容を記入してください

産業労働観光部の概要説明

「Made in 新潟」商品カルテの作成

伝統工芸品産地企業視察

NICO 業績評価アンケートの集計作業

企業誘致視察、統計データ収集・分析

会議資料の作成補助

醸造試験場視察

観光施設視察

資料整理・データ入力

「ロボット関連ビジネス参入促進セミナー」の聴講及び運営補助

協同組合システム入力

工業技術総合研究所視察

融資担当者会議の視察動向